



本校の授業改善に向けた視点

指導内容と指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	評価活動の工夫	校内における研究や研修の工夫	小中一貫教育の取り組みと授業への工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
ICT機器や、タブレットを授業内で使用したり、アンケートを実施したりすることで生徒の理解度を向上させる。 数学・英語は少人数展開を実施する。	長期休業中に補充教室を行う。 定期考査に向けての学習意欲を向上させる。	授業アンケートを生徒・保護者双方に実施し、改善・改良につなげる。	学力調査を実施し、指導方法、学習方法の改善に活かす。	校区別協議会を年度に2回実施し、小学校と中学校での共通理解を図る。 小学校と中学校での違いの理解とギャップ軽減を目指す。	家庭学習に取り組むこと、定期考査前の学習計画を立てさせることで自身の学習方法を確立できるようにする。 三者面談で保護者と学習への取り組み方を共有・連携をしていく。